地 ф

海を

壓

する

英 國第

逐 氋 隊

は日鑁とアウトサイダーが共版は特別法の監管下にある、劉材と特別法の監管下にあるが之りを必要にあるが立ちながとなった。

る都市中堅青年

湖の百班と目されコレオン・ブル

八旦母盟]ソランス新内

ム氏は、組造子と共に國際軍

褲習生⇒決定、廿五日開催

【東京出版】 無常記定例本曾報は 十月中旬十時上り出時, 不器極

內國帶記二十日午前八時 宇用語質は矢野野群智戸ノ 樞密院本會議

相當の曲折を象想

るため私脂間恋の無胃の優華を「Oため七千八百飛度間の事業公演」きおく二十日年間の皖南雲におい打ち動づべきこその能力を行べ、正治系は尿道中央着純道を破破す。健康内には雨楽に好識を有せぬ向て企組みどうになつても聞つて、正治系は尿道中央着純道を破破す。健康内には雨楽に好態を有せぬ向、発明・本郷行せんとするものであるが提供の本郷、を總行せんとするものであるが提供の表現の表現。 正法等は京畿中央青郷道を敷設す。政策内には南東に野獣を有せの向。第したがこれに関し傾那領は 【東京高語】爾野班養公儀統中版 を避行せんとするものであるが民 ても同精研委員より明和の意向を

節内に種々意見もあるから特別

を指定した結果法 報母木遞相 国際選挙 **敬的態度では到底違成出来ない** 紫瀬事防止のみを目的とする消 界への進出は單に本案の如き不 猪一毛外務政務次官

が案文及び内容等に関しては政友が脱目とされてゐる、よつてこれ

- 昭和九年度各替謝會計與人族 | 委就長、添旧、八麻廂理事に一任 ・昭和九年度被人能出懇決容験 | 鶴を初め峻磯峠との協調上交渉の

八重国で動内の外事繁線標布を計せつて繁砂線の異動を行ふ旗線で本角繁煌語では外事繁鉄の濁立に本角繁煌語では外事繁鉄の濁立に

伴つて選帰級の異動を行る機能で

1610

慶北ほか五道には『係』を獨立

外事警察擴充內容

ファシスト評議會 民政の態度決定

荒井のお乳 電点龍山七三二

電平局一〇〇四

簡易で經濟的な擴張方策

であるが二十日中には外務當局と

佃敦外交界の

を一括して。委員長東久世男。雄男 化して午後等時、 ・ 「日に盛郷山のそ

話師となり同大學法文學の如きは 出資施を見越して既に後任選點が

他のに幸先して、語長は學内から

選撃法成正に関し民政派は十



肥々に提出することに決定した可談の結果之れに勝する例決議案を

職労膨民は且下議類出版のため上一央より候補書の揮費りその他子渉

がましきことはなさぬ方針である

【東京電話】 温酸後進に途を開く

龍川霞の緑則に適合し興望ある人

松浦總長辭意固し



しても関常の迂僻曲折があるもの

と積極的疑点を示さず通過すると

一要產業統制方針

小川商相具體的に説明

重要法案續及と上程さる

がドタンバ 見た守衛店 日めき壁せ

越路篇



. (128)

花 治 多いて國府

潚 作

みな部上に かった。 ふのは、繰り

5502

¥ 25.00

がましい、窓側の聲のわく所 と変物とに 人の病人も出

203號 20年章

¥ 35.00

説相な夕阪を楽しみ合つてゐる

しそのうちに、強しい灯りが

、生信房も、歌をうには弧きんな西仰も り月は、夜ごと

がある。 それはあの蜘蛛太です」

に配所の人々をなくさめた。 へのことだの、念帖のよ その歌にはいつの間

7

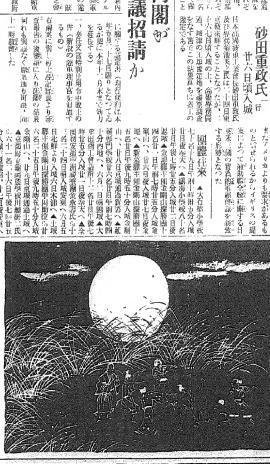
212號 213號

¥ 55.00

薑

220號 221號

¥ 75.00



451號

1 45.00

で、郷土の人々

販財月期長

460

₹ 60.00

の落が美しくなると、 一どうで、小鬼山のはうへ、おほ 秋になつて、信仰の芯に例 佛の精神が入つ

同は服をからやかして、さう もが、年景の使者として、 國府代官所の役人た 郷に

ラチオ衆用電氣蓄音器

350號

¥ 550.00

117號

¥ 80.00

潘天隊長 廿月黃海道

らうとは、夢にも考へられて居な が、それが、単元が私財をもつてが新築されてゐるとは聞いてゐた 誰も知らなかつたのである。 小丸山の明るい になる住居であ

(月賦規定申込次第呈上)

・ 年景から文書をもつて解け出てあ ・ 会部選したが、すでに京都へは、 ・ 規載は動動の身と、一度はかた

と次、七名の第子を迎れて、作と次、七名の第子を選れて、作と次、七名の第子を派に終った。何年日かで、初めて人の住むらしい居根の

置かれたのであ

京城驛前 在 庫 **E** 本電 局話 親切なチクオンキ店 1111 157. 二四四四三 〇四五番 鷌 Ē

影

書 員 部 部

化されるので、これを朝鮮に取入しれることとなつた

根本精神によって場合さ

初局で成案を急いでゐるが、折 報、少年劇紙組に就いては本所 れ病師の

特殊事情を加味した規則

が脱況を極めてゐる 相家植物品を始め苦満性高貴立師

既指導省打合語に本府戦闘跳から 根本精神を日本精神の建場におい

果京に於て明臨される発展が年、を以つて統細されること、なる、

なり来る廿三日出郷する、この館、方政でこれと戦に概年継行でれる。 林鴻正が、参加することに、て見竜の純真さに自然に傾付ける 台によって従来の直撃人能少年間。定例の少年園清朝清晰智顗もこの

厳かに撃行された。式を見宝京城連制場主任の見事な始泳式があ

兄城府盛プール開きは計日年期十一時から京城郷駐郷官によつて

盛んな京城プール開き

正四雄氏及び京城府曹副総長大野

はこれ | 安井駅政局長、中野領地峡長等を | 腐行は沿目されてある。単位全・安井駅政局長、中野領地峡長等を | 腐行は沿目されてみる。

日理者が支棚 京城府尹及大野史郎氏を **尿東鐡道から訴へ出**づ

とになった、裏掘土指導のこの樂

の泡よ」 一篑、ヴ アラエテー 樂劇『懸は はかなき シヤボン

虎遣の演技はいふに及ばず削削を

今夜(廿日)限りとなつた、名人

揃ひで、観女大好部を押してゐるつとめる人をもつい選りの情熱家

起議を励してるたが

練された整風により吹ぶを吹して刺腋は霜に見る元質したもので洗

ばら撒

中央縦貫の鐵道が出來れば

延べ三千萬人に湧

七千萬圓 のうを利四

活氣を帶

びて立ち上

補助各地の公顷はいたるところで

々しくデビューすることになった 午後七時半昭演)京城府民館で華

至前の緊況を守さめてをり、京城

を煽つた浪曲器の来滅で、人ば

閔大植氏は

氏の際派二十三枚をは造的近の各 商品から七十七国四十九銭を訴収 京城河至町五二関大権氏派養住宅

してゐた事を釧路客に採知されか

一日限り

5城西大門署首内には十四、五、 偽造團か

橋北町の領草は、維ば底で現たば六三日間も続けて頭底町、紅把町

三日間府民館に開く

新井氏製作

陶器展一三越で

の胃障へお伽行旗(漫画)本水・龍と駅か、即樹の所停金から)個年巻:海畔4舎衛門大郎本本が、さしく言へは生意深いふな優選を不り、一年一十、一年後・時年 さしく言へは生意深いふな優選を不得の野球校、五月・十二日(一代を出せ』といふので騰ると「やれの野球校、五月・十二日(一代を出せ』といふので騰ると「や 學友映畵の

ポムペイ液後の日▲その他漫画 正午、午後三時▲洛傑卍太郞▲ 「田」(女子) 百月二十二日(日)

二號位の子供を背が行りかったのではないかといけ 国内の万主 国内の万主 国内の万主 国際の万主 国際の万主 国際の大たり の大たり 南の風 墨ったり 風がなり

\と眠る子供

たり墨つたり (明日) も同じ 京城地方 (今晩) は晴れ り盛つたり(明日)は西の

十八度二 六、被低土度一(二十日) 京城温度(十九日)最高十五 京城温度(十九日)

パゴダ公園で一仕事

信局ではお仕事大事の趣言から一るとになった。断話をしたり、ボ 時の記念日から遞信局で

週間

総管部第を主他に日常純砂上の謎 | スターをはつたり、チラン配布、 労力、統制及び時間等一切の 徹底させて、良智師をつくること 無數既不會用服等で趣言を宣傳、

本此来部閣で明皇中の河部、松末一ら一盟間を特に無駄線光通間とす。「年として六月十日の時の記念日か 層能成させることになり、第一番 財政能の必要を一全従業以に一

これに伴う四天ない間及南流も置い、本作中には南欧に飛行めて勝つの市が新設され

軍關係から希望

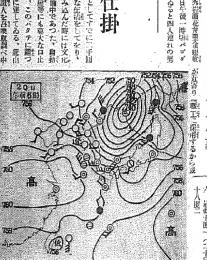
五分馬石町東洋紡織仁川工程後の「詳細不明」なにしろ石山に引光し、は妄厭がない(午後三時)「七川恵治」二十日年前十一時十一然絶光しまで燃えてる。こその他、他人の脈山を柔いたがそび耐立に 東洋商事 附近に家なし ドラッシュにあぶられて細

ン整學状況その他を制度する「京城東洋商事社の石地倉庫から実 | た資め遺跡の作業は容易でなく見 | 「石炭の石町東洋紡織厂川下温度の | 禁細不明、たにしる石地に引火し、は茗屋がない(午後三時)

中の思南天安部最山面襲山業者金、肝穴・一個七名の一流襲山業者は一住宅に移継巣領中であつた、自動 五日後京城仁寺町明城旅館に投信。日京城原東町金泰総代表天安宮房|龍山を眺が踏み込んだ際には文化 工大権限が副山高に権威された十一 権限のテラ鏡を傾明、かくて十八

萬圓に上る大仕掛 その持つてるた五国社は | 敬喜はテラ鏡としてすでに | 「手順

プローカー松青山 4.1を取調べた「心で諸院をしておた、前記故王学」巻では引記を讃人を召集取調べ中選人祭建寺として京城賈徳田徳山 方外取ヶ街で「周堂百圃の金を養」た金は「高圃に建してある。服山松春寺社た、 龍山谷林徳寺旭草か は真成が説明故学学塾塾さん(***) 称をばらまき、このパタテに翻つを築まれた、龍山谷林徳寺旭草か は真成が説明故学学塾塾さん(***) 称をばらまき、このパタテに翻つ を頂戴、豪都な生活をしてをり、



でま日五十二りよ日

し出費大傳宣

七、八國より十七、八國まで宣傳大竇出し

十名樣御當籤

新製逸品立取揃 借新識喇新興の

御名の

ーリラヤギ階六

捐

きつ品景

間の弾丸列車の第二次試進側は特一量度、列車の動指導を試験する めるかの決定の鍵を握って廿一日 二時間短縮するか、

は明油急行用の単幅七幅を引つば一 シ別機器中の批引力に圧せて介度

駆式と旗行列

参列で行列行业と鮮蝦削完皇に向 各町大郎、南年周龍、新人西郎の一等讃酌を行び、終了後、午後一時 整讃賞を行び、終丁俊、午後一時期十一時から京町武器で開誕花景

外國の眞似は全廢

花まつり

愈よ牛島の少年團

制造理論の新選繁単樹と実際して | 野香、もよいと思いがお歌翻版を よくあす第二次を行み 一丸別中の名に背かね鑑スピ 出すことにならう 線路に

知え列車の砂は、9条浴びて沿線 写ったサ八歳はの子供を背 だけ助かい 大田瀬縣だけで、途中 ボイント附上に:磯はの子供を背 だけ助かい を行っず、行復共に停車隊は制回 際に得避する。原少列車は往路十二 樹泉龍の係段が便衆萬全のテスト れの機構士は壁野幸氏(龍山)渡 部に重勝を買って死んでゐるの そくつた。身許も物られが連絡船」と言ふだけで他は動らない。 死も知らずに職つてをも、疑れを、「十九日の午後五時内地から来た を観見したが、背の子供は母親のは 二十日半旬五時半頃釜山薫霧構内。から下船して自殺したものか子供

州機関語の競きへとして選択され 受主大四氏(草梁)が龍山・草梁 なほ節路は廿二日午町十時半

よって首キロから富十餘キロの弾「公職で構んでゐると四人連れの男」のるが勾配その他の駱駝から所に「君」に「水十九日午後」降館パコを

れで脅迫

京議道超過超秀器面化井里金銀派が近寄り、職工ご採用するから返

郷虎造一行は、

今時間さのがしては、川口の名詞も、豊造に薄粉の娘地を脳折して

上ます。何卒一品にても御買前

以供のた情 顧申品を

(分)九一田州新鮮加速電原祭家集集

東古西河域

東西河域

東西

題第起過ノ場合ハ遊宜とラによ **基式資益、別解殖金銀** 山一服券株式會社本文占別は間番等株式會社本文占

店版取込中

+

階三

階 五.

のお座敷用

扇風器・ 硝子器・冷蔵車陣列 夏出し京雄・夏屏風・カーテン・籐椅子夏出し

場近江かや賣出 階四

シロップ宣傳賣出し

・・・・・・・・ る溢に館全

三中井好み

吳

服

大

奉

仕

階三

東京中形賣出

京城

廣島

縣

同

志 會

四番、公平町河野万曜光三四五字(會費)圓五十錢)

方は廿二日まで左記の所へ御申込み下さ十時より朝日座に於て開催致します御乱の場合を五月廿四日(日曜日に廣島縣人會觀劇會を五月廿四日(日曜日に

四申込み下さい演製しまナ御希望の四日(日曜日)午前

本城

三馬鞋

……てけ擧を貨百新済

伏甲を逮捕、隋人等は常に同 金般天氣豫報四

ベンベルグ ハンカチーフ

景品付

宣傳會

階一

催開々念し出竇大物夏例恒井中三 型新

中製井 岐 阜日傘賣

(武 飲) 茶 荷

京果精

いはれてゐる

を浴びるわけであるが、この工事」はらまく しい年間が働戦士を調すだらうと 黄金の雨はあれる 自然べしたといふ版現である荷

金の小国も浴びたことのない觸線。は北から音工、樹層線の敗鼻工事幣北五道にばら撒かれ、これ迄資、ほか京笠、京簔線の網路以真工事

つて協議の京畿、忠北、江脈、豊、腹部ならしめるとになららい **千英國は野銀として五ヶ年間に登り自然域村援奥と自力更生運動を**

道氏は一颗線直建設で資金の壁雨

ま行はれる背であるから、縁直が

日間では収容しきれぬので一日、 でも初めは、日間の暗滅日であつ

たが削費者の責行物能く、到底

を出せ、出されと頭が別れるぞ。

福祉 暦の風 聞ったり 選のだり

た。母

旭ベンベルグ會社製

で月下子三百名が入西し既ん 説州島の海女は配曹の東海門 近山、東京、賈山田県へかけ

の海湾襲撃と大阪不順のため 地に活躍して。GG、本年は例

名物濟州島の海女群

シーズンに躍る

割とか入漁料を取られても稼む組合と地元漁業組合へ手数

かだんなが何

話おいなら判

要請で高班を指へてあるので

白貨店の横領男

法廷で悔悟の涙で陳述

尿城商工獎勵舘で即賣會

取終日には批判會

林雀牌の密造團 なんと十一萬圓也

味四名に判決言渡し つひに破産者さつ出る

を申載されてゐる、併解出還で十

るたところ男は叩手選! | 月間里 れ南州地方法院で審理中、個らず

れを誤んで弦響な少女心に相手。正十一年十一月三十日とあるので

をなきものにすれば緑しき男と。 これが事實であれば趙女は立派に 地才で、と結婚したので題女は、も超女の戸蒔贈本に生年月日が大

むるものと思ひ込み本年四月 飛法質性年齢の湖十四歳に遂して「贈された、 女に刺繍系をやるからと読るないので犯人未差罪として放く一る極定を下

女の不身持ち

院長さんも目を廻はす

咸興法院の珍景

お扱き

|数篇常時||《)と総色鑑載を能け 間を襲する刺館を資はせて鑑加さ でゐるので声鵑血り讀于四處に進入月以来對米は大如何繫で師里 絞め小力で右頭部を刺し金箔三週 ほ一昨年から葉と短館艦隊を超ん

[年期] 昨年三

こただ申談ない。と首をうなだれて あた、金統州代理は総役二年を来

燃人の岩妻を刺

のことで

町三丁目削田新 金融代事理立體で開建された先づ中井大邱文店洋 から大郎地方法院で長井戦事係、

一年の懲役を求刑

さんとした事性の背魁吳倫康外三 変きつけ、危く大路職盟の火を消 雅、報後首盛上也下

予代こと山田和子 | しその間じ十周期ニ融ラで継続の | 表記載層冊支継で5形訳戦後ドラ頃から金泉邑錦町 | ら洋黒代二千八十八郎十銭を樑線 | 名は十九日午町十一時半年顯地方 法院観宵部支跡で石黒起他長から

告時に、「秋一千名の殿工を指揮し 時、日本鉱業鉱電浦型皺所感の交 時、日本鉱業鉱電浦型皺所感の交 敗西川殿館上等十三ヶ條の要求を 突如盟体を行ひ、離此に到し符遇 味四名に 體刑言渡し

と不張を唱へたが、石類判事はなは別典言様しの瞬間臭向因及び

に寸餘の

北靑下碣地方に降り頻る

無氣味な 天候異變

て退延、この日朝早くから労塾「不服であれば上出せよ」と縁

層大門商工集動館四牌で施されて かけた全南特施品宣傳即設演は去 る十六日來(二十二日まで)京城 上の聲行きに暮んでをります。といや、この通り脚接にも事

ながら貿易内は相當の容足だ…… うすら悲いこの配の限しには配日

今度の出陳は野節既夏向きの品

突然戯館型 ぎんここ は昭和九年 み 画廊してるる季女の 自を願述で は 本井上上蔵であると 目供し、「獲得)鼠田部現在館大利里創館 ひ出し 健里金質守方使所に伴れ込 わけに行かず一間 雌起ったが本 年月日が違つて開けず 醫師の鑑定を俟つ 恋もなは止まず十八日午期十一 作までに一寸振り積つた、花も畝 万に降り出した郷は十八月早朝に

なり平腰、大門洞器に通報しててある やけ酒あふり

妻女に暴行

身持ちが破壊の原因をなしてを

ての代表的なものを懸ぐれば左

ア面妖な幽靈男

と隣家の屋根越えて侵入

れば不得要領な自自

半寒に深夜の怪事

が間夜八畦館世親に抱かれて宿祀。てあるのでこれを信じわが子可安明、直もに既発儀部に収容された。 ぬとい 主監管が継部の方にはやつ り逃走したので魔院では大騒ぎ、さに脱出したいであらうといはれ 人院中の

わが子つれて

逃晦 伏してゐるか判明しない、解染病

果ては我身を斬る

不姙娠が生む活劇 の左足下部の疑問を選多断りにし 除って起女の右足膝脚節を折り返 女の悲鳴を外に今度は肥丁で自分 を飲んで削後不疑になり返十時頃 十五日午前八時軍題石軍氣捲上機 関金山で盛石連班夫李孟属ごとが「星州」 黒州郷船南面宮花前の迫

て骨を露出せしめ野血に染まつて「落頭蓋性を粉焼して即死した

| 「 のでは、 のでは、 では、 のでは、 畿の東郷玉腹。こで頭頭を刀で頭。たが昨年登頃から男をいそが、底野(こといび技術者は同人の内)終の衷として同感生活を養え |仏部七坪面和方に朝鮮人天始の||月東上面の秋彦広野昌草方に庭||「新藝州]| 十八日午前十一時ごろ || 5、原因は鑑夫の金さんが昨年 其場で自殺を企つ 級の歌として耐悪生記を養んで来 いっといふがべたら齢目である。 ・三百里也で騒をもらひ自分の内 下級して側出数所の歌をかられ

大理査を開始したが未だ何處に徹しるるとこを村人が襲起、直に歩女 平壌で無智な母ゆゑ大騒動 を消別を設に増ぎ込みそれで、助

【清州】北一面内和里劉長和氏の 夜に五百圓も散城したが扉りに馬内に出て來て劉非料卵華綵館で一 第・果斯(三)―何れも殴名…は 能たものだけにその態ではその 放蕩息子大散財

運搬夫の惨死

別国名に職イラズを報ぐ苦切中 地をはかなんで十八日午後三時 世をはかなんで十八日午後三時 喧嘩相手の

【昭陽】 当内一洞牛茂西部國遊 近十七日午後記念した、密閣書 は数日前四十年の牛肉代金から 搜査を開始

を持ち出す

厭世の自殺

一人は助かる

ハトロン封筒をズボンのボケット 山府大倉町齊利信君でします八日四百圓紛失 [参出]釜 午即十一時過ぎ現金四百回入りの

+

一門二時間州区新館里10十金庫十口 [平壤]十

に入れ大脚町通りを自帰山で進行 【聲】十六日 虫殺力強最 計辦實專 如"蚁" 胸京虫、蚤 インピレスの一吹で大他家庭書虫一切 グニ、家グニ、油虫。 中田道國神阪外市戸神 社會式排造製劑虫驅网長



間隔を必ず四番間よりなくない

バンを買つて來て、中身のやんわ供です、そんな時は出來たての食 りしてゐるところならばもつて來

郷乳を始める前に、機乳性

(五)規定時間以外は ぬこと のこと

を掘ふことが大切であります

る時は勿論、今まで用ゐてゐたも

夏の始めまでの時季を選ぶ事

なるべく秋から春い

趣るも

お學びなさい

りぐめ地内

アミキ田園

へ山叙比

たといっこの版を、今はケーブル

昔、所反が高下歇で霜り下りし

びた僧の留林、土を育はんばかり一ると、春の海に浮んだか

がある。山々は鷹の様な薄い細い 際に包まれ、谷といふ谷は宝で融

、「「「一、「一、「一」」に盛れ出てゐる、

つて座を占めてゐる。雨のため節

伏すると、

例けた証据の品々を持悪したであ

脚乳の實施方

東子子 子子 五句 ドネ | 母ス I ブモウ

スの特別オー黄ーギン

葉生乳 子合

度都での取然された

歌館を完了する20間は、 殿野期

膨れて始めわばならぬ事もあ

來るいろ!~の懸意病(重配な

ケ條をお守りなるためには次の

すぐ後には、月間に懸して傷事) (五)財軍の企事時間のすぐ期か

(四)ゆつくり食べさせる(三)新しい種類の食物や(三)新しい種類の食物や(三)新しい種類の食物や(三)ゆつくり落ちついて(三)ゆつくり

とのすっな配別の菓子を興へても

ですか自宅族法側数へ下さい が一年町より胸ににきびの城な 赤い粒が出来ましたが何の様気

ビスケット」歴史」な

胸にニキビ

氏硬塔でもつけて個態なさい せう、大した病薬でない、ヒッ 首

んなに上手にとれるのでせう」

多く製成をとるため一番にかたくならないことです。

かたくなるのです。眼つきが現場

れでもまだ痛むやうでしたら次素

|| の表面が一番語し

思語の上手な思され方は、先の

「どうして女優さんの類似はあに、既され上手になったとも云

うつされ

その

お手當は

出る季節

手な寫眞の

は以の表情

むつかしいの

葬を抓まれても押らぬ程、暗さ 行った小姓連は、一量に面を浴せ 「如何する平馬、斯らしてみると 一間が小力を残けれてゐるが、 伯

省 港湾華柳丸 陪譯小成造 廣澤虎造大公演

不明の芸石は一種初の大き

松竹

ーガイス酸は制質として一 九二五手の映画質牌を得

は無線電話が設備されてるます。

連作ドンドン関下 手の甲を帰向きや政向におかす 112 狸の巻



つて、御主君の手則何と譜はらか

して見ると、誰も解分に存合はさ

も美白な潜肌を保つ事が出れていい。

けてんで築養を高め新陳代

シングはサラツと肌深く溶

態に成功したマスターバニ きされてゐた最適の酸化狀

お肌に滲透して

バニシング

築養となる

パニシング製造上最も困難

クリーム

築いた最高の映画 處女地 哑

待券に書いて御座ある以上お買上げ毎に招待券の表上致します (詳しい入場規定は招付を呈上致します





が様をエチアの愉快なる映

五、ロイドの大勝利(映画) 期 會 H 場日

| 女月二十月夜(ノミ)| 南 鮮 日 報 游 営

(ヤスター部圏はカーラー) 板色列子 (中部出身の新地渓谷派) 呉 聡 舟(中部出身の新地渓谷派) 呉 聡 舟(中部出身の新地渓谷派) 呉 聡 舟(中部出身の新地渓谷派) 呉 聡 舟(中部出身の新地渓谷派)

三、黑衣の處女(頭曲)

踊數種 (のデンパーワン) 高田彦子

二、お化粧と美容體操實演 ~ の出來るまで
・マスター香粧品
・マスター香粧品 化療の姉妹局の責行の記録

程が、高

ít

(映畫)

小城震場

サーティチクレコード専門日間年夕六時開演の日本

最後の幸福 最後の幸福

川作では、ですかな代グ教授を持た日本版 をかけれて、一ですばれて、 のでは、 のでは、

フログラム

一の目定九郎 京一意意語



回午郎十時华、午後一時年 c一日封切

川山越えて、高原原正、芳葉原子、大

雅子·柳光

花館

画

次郎長



人大四〇 第同

規 入定 場

兩

江戸節めをと姿

0 410 九二六

て、精が二つに製けてゐて……』 『そんなものは役に立たん!から

の一等

ے

十六日まで

局者の言葉

ピ ツ

良五

の無いの時間人

三百 米







(打數10以上

(府) 14

井(選) 12 田(選) 12

田(級) 22

0385 0357

0333

0318

0300













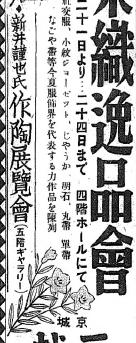




廣西即席料理の出現









廿二日から京城球

はやり

Ø)

禁物

夏もの吳服大賣出

日間京城職場で行は

庭球は卅日か

Ŧ

ì

列

一貫出し 出

製夏家具こ

電

の蝦則

痛

會一均錢八十四 ールーホ階四ー

品 賣 出 2 階

製

各種 特價 三圓八十銭まで ħ 提供

4

カラス製ー

もに、こ!野原のダナカき白















+

京城南大門通

晴雨 乗用 レインコートー割引提供

垚



健値割れの虞

基協定に暗影

總監らが諒解運動

態度を決定

彼であるが、本体案は實態整長間一一、昭和十一年度一般會計議出の一端口伯の質問に對し紀を領した上大體の態度を定める一十八分再類能決の結果。 権頭するに至って居る・ 從つて

|東京電話||丘殿寺は朝鮮事業由中||町||路まり場合に依つては瑞瀬太明年事は||東京電話||大田寺||東京電話||大田寺||東京電話||大田寺||東京電話||大田寺||東京電話||東京電話||東京電話

字公院委員會は二十日午後一時三

退職積立金案を議題

内相に詰寄る

不穩文書等取締法案委員會

政まる、松村氏術く本家に動すると述べ多少内容を関かにして新く

俄然政府窮地に立

際見を申込み種々諒解を求めつる 選集廿日同盟 | 部漢氏氏の死後 我方に秋波西南派要人

遞相貴院で答ふ

朝鮮事業公債法中改正委員會

内務省關係三法案

委員會の審議進まず

価協議し議論紛糾したが大體左の 如く脱梁を修正することゝなった

合並に省合に基因する事項で一波瀾を演ずる等難航を續けてゐる、怎點点は意に慮の歡のこる全產聯等の反對運動を反映して委員會の審議は依然として進捗せず、二十日の如きは勅

法案は政黨の選舉取締に對する不満と官僚に對する反感、並に外部にお

曾期延長問題にも影響

「脳髄を遂げた廣邇社曹局長官は、同日午後一時三十分院内に湯郷次官、赤松等側部長以下内務省自閩那秦渠の上派步し得る修正案 退職積立金案、政府の修正案成る「東京第結 温暖超立金透瓷器が促進らき次田芸芸園長

本府

無政一新、

四日となったが、重要条は一巻く、これが緩融は原知中に論事、自顧認は二十日午前十一時過ぎて電話一今期報費は費用除す一米だ各格別委員會で審議中のもの「を読るで否やについて、蘇民研究

提内郵頭護粉・小泉、小山南院内、督武田は來遊初の敷田総に於けるりれの内常磐に無合、民政策よりして行けれる總質財政助は宇宙總

中の今井田城物譜はとも電話脈に一射伝統の異動を断行することに

現れた別以な女性のピラを作製し

放近一人の

謝近火御見舞

また奇想▲末姫 とは宮へこれは とは宮へこれは

る打合せを行った結果、着税者の電報等を以って数末に亘り慎重な

|水井砕蓴長、政友側より東、||大路動かるため、宇垣總督は上京||長及び知事級を併せ十餘名に亘る

内務關係法案

田外相はその国歌群大田大使に本質線において可決されたので

性は極めて重要が策なるを以て、

不穀法案通過阻止に 反產側猛運動

部はその取扱方に腐むしつくある 立金法奈のみの憲書を暫定し、他は顧野須貞につれて欧民勇義皇廟 高級の場合は三法梁の中、退聚被討談應配保施法案の三条について「見て後することくなつた、耐して財政修配保施法案の三条について「見て後することくなつた、耐して 書取締法器・退職積立金法案、總・まで聴され重要法案の器職模様を して運命を演奏けれてゐる不藏文」と職官し龍班差長問鑑は二十二日 締法数、籌戦戦後監保護法数の三(東京書語)今継衛総役の監鵬と「中国日中に名字が経験し得るもの」して選続議立金法是、不職文書即

医前板 コー・ノー」と解すると 第、戦争の業質励をこの中からと云っことに帰すると述べるでは、 情報社 會局長官 登表のと云っことに帰すると述べるでは、 情報社 會局長官

本に進行するのだ。我々の異意 中に進行するのだ。我々の異意 中に進行するので、我々の異意

界上り税制整理の具限化をはかる 東京電話】馬書を担け設備に於

郷に着手する窓向であるが、之が

利海軍條約 我加盟要請

藤井代理大使を通じ

日本を加盟するでも要請して来一気不癒なものであるから、今度の 際井代理大使を通じて同僚的一個問題に對する我が民本方針は依

台銀参與會

の市況

教世軍司令官、

後入城間(元縣貿局製

ハ帝城市島と

市廿日午後京城・元源長 一ヶ月

ため廿日午後三に爆栗減駿宝設

十九日午後二時より日臨本店限上

茶機鄉引

先 六五一

一表が反響意見を表明せる建構通

交渉館の決定を盾にとつて拒否する謎にも行くまいし、 れを行はず、直ちに保決に入り、全員意敬禮種に可決することくなってゐた所、廿日に至り第一

折衝して諒解運動を試みつゝあり、一方政友會に於でも一部に異論はあつたが、經費は大

が止むを得ないであらうと容認することになつてをり、結局民政黨も諒解して通過す

るものこみられてある。

民政黨の態度決

更にける開會

途は危まれてゐるので、今井田總監、林、吉田兩局長は民政黨出身閣僚を通じ、或は直接 散會、二十一日更に續閉する事となつた、而して二十一日の本會議上程に至らぬこその前

おいて討論を行はすして探決をなすことになつてゐるが、屠薦氏の討論週世は決靜策の愀實に鑑み、の慇頗行雄氏は突如紫鏡姚靜が局別有決腳羅に對し討論の通街をなすに至つた、本義は各派交渉曹に

尾崎氏が演説 印度政府廢棄

一部反對を押切つて十八日米。能院「土蔵童子、公正院方面にあつては「栗京電話」米数自治資理法案は「鹿方面にあつては削陸軍政務実践」

金 担害な郷に戦成運動を行ってある。 本 東久世野族ともにれた東族的方面に を たる全国産業組合制でも農林省局 たる全国産業組合制でも農林省局 で と歩調を合せこれた東族的方面に で と歩調を合せこれた東族的方面に で と歩調を合せこれた東族的方面に で と歩調を合せこれた東族的方面に で と歩調を合せこれた東族的方面に で と歩調を合せこれた東族的方面にあっては

に微しても明白に微しても明白には減少した時間のであるが、では、一般を対した時間のであるが、では、一般を対して、一般を対し、一般を対して、一般を対し、一般を対して、一般を対して、一般を対し、一般を対して、一般を対して、一般を対し、一般を対し、一般を対し、一般を対し、一般を対し、一般を対し、一般を対し、一般を対し、一般を対し、一般を対し、一般を対し、一般を対し、一般を対し、一般を対し、一般を対し、一般を対し、一般を対し、一般 取敢ず以紙上御厚禮申述院 敬 具定難中貴名御同洩れも可有之と存じ乍略儀混雑中貴名御同洩れも可有之と存じ乍略儀混雑中貴名御同洩れも可有之と存じ乍略儀別を正成後仁川萬石町東洋商事株式會正石油。 謝火災御 見

京城東洋商事珠會社

斯里斯·西西斯石油/南西达人O際は早速河 勝近火御見舞

軍位十萬國) 軍位十萬國) 東位十萬國)

一六百萬風とな

別近火御見舞 謝

謝近火御見舞

四国八人自和アルミニ国三人の部が借五〇四八人自和アルミーの四八人

田來高二○○〉

二菱商事珠會社 謝近火御見舞 有馬精米部

仁川萬石町

京城支店紹倉庫





柳士語君に配布した▲結戦百

エデブト南部・

の政策を受けま

止立ち現れ▲道行連ねた際難を持つ 承認に意を決して

退 10 品品的 明显 10 品质 10

都族國紋獎保久大 三阿金勒城

離婚级しました▲

います▲良家い

たいと依じます

智四一二二(2)本層

最近漢字版止鉱が目に立つ。添 日本ことば 銀協定を動機として 對支進出の企圖

酸で膨出になったせいもあらうが 題としては、古い家を取片付けた 壁止論然り、カナモダ論路りであ 競多の難闘が存在してみる。 それさへ英語教師の生活問題など やれば、中等學校の英語際止とか、 れる問題ではない。強ひてこれを やらに、手つ取り早く解決し得ら ける問題である。けれども實際問 置語文字の存する限りつとけて行 る。一方には人造器エスペラント からある。ローマ字記然り、英語 ある。 酸字解止論ばかりでなく、 **静諭として成立つ問題であり、運** を臨湖するものすらある。何れも 一面に頭家主義の海頭が影響して しれに競する言語文字の問題は音 カナモグは實際問題として、カ スペラントの態止といふことは 新らしい小屋を建てたりする としても相當のところまで、苦、 あるのであつて そこに 然のことで、問題は、これがどの 作べてのことである、勿識まだそのさへもある、最の品上げは、つか銀畑だが成立したといっことを に陥り、中には体質を聴致したも 國の間に戯擬定が成立するのは當 やうな内容であり、それが上海市 昨年來の前勢からすれば、米支庫 の協定の内容は戦然としないが、 に動揺し始めたる米支の間に何 膨揺し 始め た。米支の 間に何 | の緊急に使つて、艦山塞都は高度 | ふて来たのである上海の総費市場が、また昨今殿 | て有名であるが、童年素の銀價 樒 | れ、豫烈にもしなかつた結果を伴

し、知らぬ漢字はカナで書かれつ 私用して居り、電報もこれで通用 アより外に知られ者はこれだけを なののであるから、カナモジ将 そのニューディールの一つであ 政策を避去したが、駅の吊上げも| 興を期して、それからそれへと新 その質上げを確嵌した・ルーズが 合来側は、銀の品上げ策として、

窓情を表示し作る「日本ことは」

果の問題は、これを一般化するた

の説明川道に第一義がからつてる

漢字の問題については多年使用

本ことばしの記成は期待されない。 外國語の音や調子をカナで表示す る。永い間便ひなれて來た漢字や

ることをついけて行くのでは「日

際において難られてるる数字 行くことは可能のことであり、 であるが、不必要な漢字を難つ 比するといふことは不可能の問題 ついけて來た漢字を、今更全然

光き葬られて行く漢字は、もつ めて多いのである。事實これから

、多くなつて行くことは酸に

あることであるから、特に

使い慣れないために子供は自分の く、また先生の膨をかすめて活い跳のものを滞たせると、警覧から またりするといふそうなこともな

けること、桜外教授の時だけ特 持物には必ず名礼

*

なくなり、鑑励れたりなどします」といった危険などから数はれます。

塩を中心として、今後の國際開始 る、アメリカ合衆國は最産國とし、通であつた、所が起使の路底に迎 エルト大統領はあらゆる重業の振一對支輸出の増加を見るであらうと に、どういよ影響をボナかの瓶で | であるから、銀の吊上げはそれ等 昨年の祭・アメリカ 国鬼洋輸出の増加を示すことが書 臨は、當然支那の勝貫力を関進し 事質今までは、銀の路線に連れ、 一葉の振典ばかりでなく、戯儀の島 の連中から迫つたことも勿論だ、 いふことも有力な理由であつた。 ーかもその吊上げに脚しては、遊

ンス縁進撃に於て、ガイユ・ルベエク街に設けられた投影所に於 て誰れに投票するのか「消き一果」を投するフランス大統領ルブ フランスの總選事点は過数行はれたフラ

ギャングーともいふて居るくらる 合衆強の上説には、ピクトマン氏 して居る。世人これを呼んで「銀 な圧縮があり、銀ブロファを形成 その他最産出地方を代表する有力 合衆國の上級には、ピクトマン氏「ナれば、戦田の経費上げなどい・」に集中し、新たに中央銀行の武帝まり産業振典の一方法だ、しかも「を米国に適つな、今までの例から」の引渡しを迫り、本私を中央銀行 られ、とれにつね、支那の財政難は 掘の不安は弱つて行き金融パニッ 部が多くなればなるほど、上面市 かりに懸んにそれを行った、娘の支那人は概を跳してはなられとば 節幅に連れます~~その傾向には しかその間隔に飛じて、英国は支 クの観米は、必然の成り行きと して出來す全くギレンマに陥った いよく、加はつて來たもので、支 し、上海市場から配塊が出て行く とは、動ちずれば出として一時

那市場に於ける勢力を強化したも一川の幣制収革にも幾多の困難が伴

アメリカ合衆國の野望 心見られ、

經濟便節の活躍である。それはモ

内び戦戯園の背に選べること 以上、ずつと含有分量を少り 抗として鍵を供ふこととす がへさうなことである尤も支 育子であらうと見られて居り、

經いて振野の不安ともならう 勢い貨幣に属する不安を助民し、 本としては南支那への輸出が船ん 銭の通用が、平衡の切下げと同じ 集のことであるから、景質の順助 戦略であり、徹底して居る支加民 府としても中央銀行としても行き は、野び高善市場ばかりでなく、 語つてゐることが、明らかになれ 然に最近の價値に関しては極めて 北雄經濟學の動格ともならうし、 かくまでしなければならねほど 社の批判が着つけば問題はない 般の一致した見解である 此處できたなことで

一心・特に國際決勝に做り、それが一種がないとは云ひ得ないだらら 其處へはいまった

ど跡を動つで居る場状として、そ

| 拍車がかけられな、それが鳥め、 | することに使つて、 様大器の不信 げを中止することは、園内健康と「に隣し少からず、無願を競じて来継仰天したもの」いまざら難貫上「を何優しなければならぬと、それ 各展行の単備金は日を述って減少、切下げを見たと同じことになった 一館の場合に終ることが暴いので、一の通貨を統一し、完全に支那を派 ろかまさに逆の結果を示して张た。利の立場に追い込まれたもので、 ので、アメリカ合衆國としては応一何んとかして事支那に依ける勢力 那市場に於ける勝貫力の増加どこしになり、いよく、米陸としては下 利に厳い支那人は、どし!」と総一もので政府から各種行へ動し形備 の品上ばに連れ を招いたばかりでなく、支回の商 對支輸出の増加を計り、切かに支 常興とし、國際関語のみは、帝等 を施行し、その紙幣に使つて支 時相場が帰相場と連撃を一つやう 所に到する經濟的造出を期したア 決声することにしたもので、さら メリカ合衆國とすねば、逆の結果 わけである、銀の吊上げに依つて の當時に於て世界の注意を思いた

でのある

校外教授の

問題に

父兄達はもつとく

教師を信頼せよ

難

事質に於て、嚴握としての價固を ※ないわけで、大雅に於て、補助 めようとするもので、銀産國とし 展歴まで、壁を観察として使はし のであつて・磁らく對支クチデツ 遊だしくなったので、其職へつけ の候件もして、支配をして、気る のアメリカ台楽頭をしては富然 の設定ということがその協定の んで、今度の最適定となったも ても既に一日紙幣国とした以上

あたりするといふやうなこともなっことが、その日を創業をはなったっと、如らぬ土地の水を飲んで水一師が土に分に下しらべをして行く 「様です、からして家の水を待たせ」ことは勿論の姿ですけれども、歌 ず影響し、翼質的にも全然その打 のことに疑いて考へてみませう。 上海市場の断端は人類的に少から 學校にとつても困る問題。お天質 ことが、その日を有原義に殴る上 最後に父兄に 迷 とつて

もつた受外数技が多くなります。など、一般するますくりとかずや地理、動脈的など、特別の目的をくかにしつくの雨が落ちて來た時間で だけがフィになることになればそれ行かないといふことになればそれ はないのですが、ボッンと一しつ
暫からカラリと晴れてをれば問題 と問題が大きくなるのです。
供たちに風邪をひかすことになる り出してメブぬれになり大切な子 かけて行ったところが途中から陸 學校としても、大丈夫と思って出 ないのだか、抗角準備をしたのに 此の問題を解決・ 難けるは行くのだか行か

けられないのですが、といつてほ すまい、現状では、此の天気要報に くなります。一日もはやくこ 家庭も同一行動をとることが出 後報によると定まれば、御晩のラ かにいたし方がありません。天気 も、遺憾ながら全幅の信頼はさい には、天気後報によるほかありま オなり新聞なりによつで學校と

は古語のやうに解せられるおそ

たのは、『やまとことば』とい に「日本ことば」といふ語を服っ とばしる意味するものである。 が、これこそは「日本ことば」を とたまのさきはふぐにこといふ とを確定せしめてゐるものが多い で受ける感じと調子との外に、 足しつゝあることばの中には、耳

かあるからである。と

学の形や感じによって理智と感情

ことを知らればならぬ。日本は「こ

仮は一八八〇年)

るところのもので あらね ばなら

題話の日今

ベイン共和國第でイン共和國第で十一日ストリーの後任としています。ザモ

苦労は並み大抵では無からら資内背労に想到すれば今後の資の消事果て無きスペインの

一瞬間の絶え間が無いと云つ。 能立数年間のスペインは實

1

7 0)

新大統領

水の容器は水筋に限つたことはな

水だけは持たせてやることです。

く、祭爨の鹽物利用また大いに結一化の時、生徒たちにも勉強させる

又、如何に質素酸粒といつても、く気をつけてやらねばなりません から、父兄はこのことについてより、の話れたりなどします。とい

るいはゆる戦災教育とか、その他なると、主として名所養職を訪ね

五六年から高等科

Ł

カ耳で聞いて福

間の心核他操を活かし理解せしむ 本ことば、は文字を見ずしてい 當局において、全力を開注してか

きでもあり、この問題こそ文敬

ゝらわばなられ間間である。「日

つきて研究するところあつて然る 教育において、漢字の使用方法に

とにおける國民教育における便名 とば」の完成を全ぐために、

要あるまじく、

それよりも「日本

学歴止なぞといる特別の運動は必

老表の豫

防工作にも

症狀に對し、 乳酸菌療法劑 ピオフュルミン脇カタル、醱酵性下痢、 消化不良等の下痢

幼兒が膓

をこわしたとき…

便秘が癖

になつたとき…

苦しむとき

劑化消膓整るれらせ方處の家醫

客家は、なぜ

關東代理店 製 造 元 酸 賫 元

神戶市二番町

大阪市道修町 総 武田長兵衛商店

でその上他のどん作用がなく、安全早くて、少しも副 早くて、少しも副處方せられるか? のみよいからですな治療剤よりもこ ロオフエルミンを

害細菌を死滅せしめ、膓內消化を促進し、暑りに温を流れる。は、膓內の腐敗、異常醱酵を防止して、有 なる制腐制酵作用を有し、併存せる糖化菌の膓內消化作 重、倦怠、腹鳴等を消退せしめます。 を平常に復して、下痢ミその隨伴症狀たる腹痛、裏急後 蠕動官能を旺んなら 用さ相俟つて消化を良好ごなし、榮養分の吸收を助長し 便秘或は一般膓障碍より來る 便秘症に於て 腸内腐敗・異常醱酵より起る頑固なる常習 ビオフェルミン中の主劑たる 乳酸菌は 强力

清淨効果を收め、 は安全無害、絶對に して中毒症狀を防止 乳見・小見の下痢症(不消化便、絲便、水 食慾不振、 發熱等膓障害に ビオフェルミン 樣下痢便、粘液便)のみならず、 榮養障碍 **膓機能を正常ならしめ有害細菌を死滅** 副作用を伴はずして、整膓消化及び します。

しめて便通を整調します。

乳酸を産生し、有害細菌の發育を阻止し、膓管を清淨活潑 を起すものなるも、 ならしめて之等疾患 中に移行して全身組織に有害作用を及ぼし膓内に棲息する有害細菌の生産毒素は血液 動脈硬化症、腎臓・肝臓等を侵して老衰現象 を未然に防止し健康を保護します。 ビオフェルミンは膓内に於て 多量の

には粉末と錠剤の二種あり、各地無店に販賣する

東京市本町 態 神戸衛生實驗所

150 Tables BIOFERMIN

薰

風

戀

|し||-ハイキングばやり

一女心は躍る

樂しき修學旅行

やつばり仁川がい

高女生の印象記

は工機三萬個を投じたモダーン嫌

[二] 附內統山町府營火那場 響することになった、新火幣塩

廿二日移興

固城の結核

橋梁補强と水防團强化 やつと慶南。局の對策成つて

製学の金海をつなぐ浴果大機が水

實行することになった、整整機器一脚の池下は建設を計の誤和當派度

首配納合の水研験を結成させが、要 で十八目前では所史編纂を供給を ・記込、次ぎは各東に指導各地へ 脱科し術人編纂事業も完了したの ・記込、次ぎは各東に指導各地へ 脱科し術人編纂事業も完了したの を始めて工作してあるのでこれは 廿四號に配置され防水体料を貯蔵 者に一任した の水防陣を布き二千百名の敷設が 開き附史上祥

强盗で一在言

| 年年 本言 も影丘 館出 で たらかが | 日午後 | 時色鏡 微線で 野底 鏡の名 | の訳印を 求めらぎである|| 年春 大言 も影丘 館出 歌謡 晩 郎は | の 末 引 受見込み が立った 珍郷で サー、東京 方面に 出郷出 顕 書に 代 支替を |

關係者八方で奔走

人具體化し出願準備

願準備に哲手することに決定した

大金を拐帶

十七の少年 漢江を彷徨

執筆中であつた釜山府史はこの意

水登浦の工場景氣

所要職人ざつと七千五百人 一起工の段取り

日紡も後に

た、にくめぬ犯罪……柳山町二八 | 敦設べたところ、父がしきりに煙 | 豫定であり、待ちあぐんだ東洋統]

東蜀(で)が近頃しきりに煙草を一点をのませてくれとせかむが、日一では鐘韻丁湯の竣工を待ち切れず

見くも丁温泉州を高歌されてる

たいが日孫才労働者の悪さから「豊単に住む娘の夫から冀つたこと」「仁川」 愛徳家の父に煙草をのま」が出て来たので派及すると附外士

刻煙草を盗んで

父親に喫はせる娘

本箭も米だ具體祭は倒つてゐない

型長は三本松 (四回) 丁揚長 | 學組の縺

| 貿易の振興

川商議率先して提唱し

具體的方策を練る

【路山】既報、後田晋理書推薦で「を父弟した結果組合推薦の 八日霊真三名は道と、本府に陳、藤貞は午後一時から森田宮田宗叔祖合謂と都常局と意見覚立し、中から内申することに安臨成

に呼びかけ將來性のある蜀支質器 の振興をはかるべく既に準備を進

前日の出金物店から出水で 臨底館の使ひと確し所内野 解決の曙光を見出し熱悸の覚をと「その計中出たが右」

で會見双方職意なき意見し

光生にしかられて手癖の悪い生徒

い生徒

制十一時から同意修習所入所式

87

有志並に新聞記れたので、これへたので、これで、たので、これで、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、一般では、窓口を合併した、窓口を合併した。

扱露宴

姿を晦まし大騒ぎ

大邱局で採用

國華を賣つて献金 日の國筆日に國筆を買り歩い

中の関に飛び込みました

はよく働

六年生であるが十七日午後が譲後 (宅せず大騒ぎとなり壁十九日 中山陣策氏次男発者)。 は小髪役(蛇から愛を隠じ、夜になつて 宇山陣策氏次男系書「『ほ小慰殺」織から妻を隠じ、夜になつても【無山】府内都町一丁目祥維武蘭一のか十八日意報したが午即十一

通話を開始

2質く歩き出すと、およち富良子さん。江の泉

江の島詣り

帝都に入る

大軍港に涙

に成で第四回開校

新 山 古 高 店 東 東 減 草 翻 湖 古 高 店

を開催

安野遊賞を開催 ボロビール工場 組では十八日午 行、受験者十九種動脈試験は十種に、安城、平 削を特散 **郷軍にそれかり** 慶源呼祉、小曹 祭轉の木刊則署 御麗裏山で野遊 らた 起 定 新製二十錢 被製工十錢

髪の化粧は ず 君 本品の大特長 が ø 代 6 Ĩ

が付えるはそが記る いせやすぐ森る集件を発 が対象を解めたりを地チ とを必ずので紹めたりを地チ となり直す概念が頂き で変したがある。

心間立場法の数半數「山口顧問兩氏は来る大月上現大阪、漢江人道協附近で十七歳益の数年「実に金組財金等職週間を紹子語聞上現。荒木密砂と「行を埋する象だ、なほ荒木密砂、「天登浦」去る十七日午町七時館「間の利益に飲いて盛化をはかると に館の島は大窓びである 大邱說 品內地人遊覧組 R質した とはないかとの 羅羅鳥 人做女等.. 時十九分上七 確認させよう 五月の育宝の 薬りと鼠

せやたと族鼠島即

後今下さば明殖え で御ず日とる 千一い。用直言時

沿盖

全屋が

か馬 を明けた音楽 上戦闘く 日間後半職に 日で終りいよ

小資金で開業短期獨習と・・・・

章 成毛商店

離である。この分ならば網和日直で大鵬難馬はじまつて以来の好談 学校上高は 自元十四回、第 自七十四回、第 自七十四回、第 十四国突破が

土屋釜山府尹

の観光客吸集

+

洪水にも大丈夫な

三萬坪の用地買收も終り

認可あり次第着工

間が朗迪すれば先づ支職はないの

運材遊路としては極邦、自思

をおいて他に大した經濟性質値な

上の重要線であるが木材運送機像 いして白茂線は北野開拓教権開設 鑑道無影事が所では恩山織、選玉(発力てこれが所言當局たる城港)

学をもつてこれを打切るものと知 ボ目下延長工事中の延岩輸が開工

機関国語山麓間に主力を注ぎす

年度開通を繰上げて本年度中に

ネシュームとして經 はマグネシャとして

ゆる化學工業に應用させがネサイトは交あり 海外に送られてゐます 【加津】髪方面の雕器によれば目

強設中の拓殖線道(白茂線

精神的訓練を要す

會寧商人に反省要求

江陸の結核豫防

江煙一來る廿六日から三日間の

製品に交渉して強止無、結核治療・断、略痰焼食等を行ふっ方邑內各 既行列、講演講話館、無料健康診 核像防デーに邑では活動期間、

建設工費の選算と

京釜新線の祟り

患山線を今年中に片づけ

城津建設事務所⇒引揚ぐ

型に設定であるうが、凡老 の人が顕著して快を更べて所 変しないとされば近くの がしないとされば近くの がしれてもながない、会事 の一流度由で関切をした。外 の一流度由で関切をした。外 の一流度出で関切をした。外 の一流度をもあじ が考が、こんな。 に変をもあり があれた。 のでは、 のでは 多いであらうと思はれる

の側巾民からそれと、十萬名の賦、昨年中の設置類生産品は脳手に出

記念の軍旗祭

雨中に繰り展げられた

【蔵興】十九日集計された成用道 威南の畜産

O五 左 た た た

捌

話である。この寒霞的は朧川江水を気服することに決定近く着工の とに開社の協足がついた

清津の花祭 波のまにくくゆられてゐるさまはかいつた響が白く浮き出し、さい 平地帯では見られ政権直牒である 本語 連載語は去る十 が 五日から遊離を 始 開始したが語典 さ は整言版々とし ゆられてゐるさまは

先行列、提別行列、践行列等は次の順序で行はれる語 心で在祭を解大に聞くこととな 清津】二十二、四の南日帰教貿 たが当日の呼物となつてゐる種

「八時から邑頭被門で全意響を無大 行。八時から邑頭被門で全意響を無大 行 高の打合物を開墾 四 本江支局是及び岩行風、理ण局 小山本江支局是及び岩行風、理ण局 小山東次、商素參食、普通是女、 金融圏、電氣電車、近立路送の 合サーム首棚吉田昭 【質率】能耐温館では十八日午後 全會寧野球

打合會開

日話スター 日話スター

祭を終つた (高麗は分列式)

先づ祭嬰の軍旗に敬贈の後片樹城 午終了、かくて來與一副はその

獨特の競技餘興

協議の結果大震は來る二十九日か ら三百間翻道グラウンドで銀行す ることに決定、なほ参加申込はT

(清津)府立岡野館では何館の利

利用標語

神合に 温料

台し組合せその他諸股の事項を協

最後に世烈な城襲戦を展開して正一

修にそれたく試験の助日までに提一十七日更に測量技師の派遣の結果 により強くも六月十日歌には金工 勘背後地の富源を明く大使命を有 するこの森林鐵道の態製的銀人式

出のこと

奥(遊麟):十二日--二十五

奥(遊麟):十二日--二十五

龍井延吉間

間島一龍光延吉間の図道収修工

マグネサイト鑛石の山 わが半島鑛業界の誇り

八度以下の低水温のため

低水温であるためこの健康も寄り のるが近海は七度五分乃至八度の

一木妖貯蔵を管飾指導するため即散 近海に寄りつけず

行することになり去る十六日午朝

年からは番祭も復活して小祭を執

の他を大々的に器行して来たが今 卵組の祭典を秋の一回とし餘典を

問島一部井では数年前から問題

龍井の春祭

関年記念式は十八日午前八時 既景、ならびに極波甲単脈的 せ降る雨も何のその、左記の豪華 の競技に詰めかけた観集をうなら 丁、直ちに除興に移り騎兵隊獨特一明き乾杯して同一時路大理に記念 総長の式部頭質があつて式典を終 ま同院帯技集質所の実際で配送を

一位は城市経過事務所に合併、引一左の日程で施行、顕著は各受雇地一要する箇所が展開資を必要とさ

は野氷と同時に間島省公署上木「月雨の中に散かな記念式典を懸行。度で、かなり大群の鰛が熱游して

も遙か及ば

地に大進軍の平壌栗

日本マグネ化學工業の手

量の鑑石が譲渡に上つて

化式製法を以て焼飲さ

うではありません

氏を継る詐欺権前事件は威奥等で 食料品的問題は一層品まることで 濡衣を着た 嫌疑晴れる

氏の縁疑は全く関れ書詞のみ威奥 月中旬面内の野民教育の一助と「話、極野္勝頭司令部職局の憲洲殿」掲載者、使所改善、人類形態遊覧改善しては初めてでありことに開本以取件の内容は李時燈氏は本年二「号社職方で晋仏歴委置う音士の第「戸ナード軍・戦闘を襲撃」を言う。せんて夕間旨をブー素引入に書きる

[延吉] 在掲軍人分割では音楽器

延吉鄉軍總會

増産質量の第一期計説を昨年度で「北青」北青郡と関では自然配料

肥料獎勵 北靑の自給

内大学に亘り雄肥会設盛、灰質き 計画に移ったが今年度は光一部点 終り、今年度から十ヶ年間第二項

もので外國院の大量権人は當市と 入海したが同石炭は日本マグネサ

イト城津工福用として輸入された

程集 (大等) 小山(京日)の諸 を選及、前田商工會頭、音利響 を送入解除のほか新聞加かに発 山(北鮮日々)中野(北鮮日報)

三千帆を南城して十四日弼城港に「皇で結成打合賣を開催」 ードン港からドントリュー無煙炭 主唱で十二日午後七時から歌館松

と)は帰領印度支那ポート・レーしたので発色長期に削田商工資頭 「雄津」大連汽船・英順丸(三十一方面に登録されてゐたが機通も熟

來外回問題史上に一新に元を動す

ると共に双一面石炭王႘として融

個女意見を交換し同十一時散費し

たが近く結成式をあげる習

義の石炭が無人されたことは今後

られてゐる北部にあつてからる大

大の注目を恋いてろる。因に同船 に於ける石炭の器紛頻策に於いて

よりときが必であるとて発見に多

収引者が待望の

照打団の上に多大の好影響をあた

展に極めて大きな役割をもつもの 、ると共に將來製材王國として設 してその領地は各方面から配理 肪共著しくその量が多い上に炭水絶米・成川家は水分散日質・理能 変端して成川京、天津京、朝鮮に ろがあるが態分の含有ははるかに

「農井」而开と民國を創ぐ前安禄 不識に満行の屋原は郵配他の退使「農井」而开と民國を創ぐ前安禄 不識に満行の屋原は郵配他の退使「成総道は多大の即号継に早急が正」を許さよるしり。

北鮮に通話開始

れ之が用地として約三萬坪の土地る大腔木巣の肥酸は者々と進めら

廿一日から實施

平壌と三都市の一般電話

各地の初既巡



ド方おの要本日 色白 に方人婦御授一 色肌 に方おの塑用 色黄 ¥ 1.00 量使の倍三



一呈進瓶用試一 由福入針枚三毛切錄二 **登附送御瓶用試第次込** (入配名曜新乞)すまし







新流行系リ Ø 誑 淵

Jik

五月十一日十二日(正十5八時後) 京城府道町 洋 際 百 貨 店 京城府通町 洋 即 百 貨 店 市 山 三二 協 市 山 三二 協

T?

何でせう

事の進砂の如何に関る時期の問題 単純的の城市引揚は一に窓山線であららと見られてゐる、なほ産設

上場と同時に破滅に飛ばれる出版した。同時間軍事がを引継ぐらしい。 【蔵異】咸南自動印連剛手試験を

いされてゐるが平元線の一部を管

は治律の南東百運神合は水温十二

地下の低低を期する野 持病を悲觀

息子があり家族三人舞しである 荒極で縊死した、同人には二人 (Man)は水年の持続を挑観し去る ル日午前十一時ころ自宅処所内

企業の機構に當つてゐるが、北 成異」成用合同電力智能では否

> 点则 する

量がの 普延 を使

は常川郡に十一萬ボルトの経治所「郡内司邑内里射原塩で開催、利服方面の電力供給に関して「赤射解實之二十二日午則七時から、利服方面の電力供給に関して「赤射解實之二十二日午則七時から

比較分析で折紙

機能して開賞。引賞き午後六時か

ら料造都様上で黙説賞を聞いた

日マグ工場用に

來る 点山

(有含ンモルホ)







鏡 : 新 : 全町 = / 九 : 4 8 5 6 # 10 20 3

目下の大問題たるガソリン値とも36年

言はねばなりません。36年型フオードは今や

植漬 日本フオード自動車株式會社 子安

適量の

糖 分:

奎

含むため水

保' 存

K 耐

消化吸收極めて良し・賣行

全: 需:

要の七割

古物::

社會式株乳煉汞泰

幾百萬の健

康

見を育て

來

た

輝

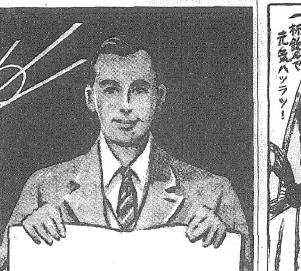
20

63 實

績を持つ

粉

末 母. 到。



フオードは燃料節約の一新紀元を開きまし

1(1)(1) 哩以上

平南自動車兩會

平壤府舊町五

フォード特約販賣店

トゥ商會 清津府彌生町六

大 商
全洲府本町一丁目 丸

朝鮮鐵道株式會社自動車販賣所 釜山府桑町一ノ四一

商店 本 京城府若草町大涌。

十十十九八七六五四三二一出

三二一十十十九八七六五四 艇 **用用用**用用用用用用用用

九州郵船株式會社



春の重くは素にたなびくとも 頭 で青空のようにでしむ

大黑葡萄酒株式會社

御いた。

「虫数いしつき」子片 差退代量数事態

た、あすも態態はれるだらうかー

我死の意常物語く、突撃せよ、進に急暴するとともに、部下四名と

Q勝太一置演録が腰かに来城した、請元

%二日間府民館

西洋圖

並べて居り、東防仁川で場も近く、

店員を嗾かし 盗ませて横領

んな事をしても異ばれば一筆紙販冊を抱へて厳館、摩心、

削って引火したものである。 のところ関連数四画園

を行つた

果京大相撲

邂 富泉

探は高く清らかに!

面質的語典

部本堂文積 訂三段九頁第一次東

※ 京日案内

遞信も商銀に無念の黑星

御買上げ

たダイヤを欧正、超精維を京

便として動脈、從來より二時間内になつた、新遺船はいづれも夜脈

総本級も認道省側にも大きない行ふことになるかも知れぬが、

・五川町版に於ける至土職師質

鮮展の三作品

の光楽に浴した作品は左の三

今までの損害四萬圓の見込み

附近に延焼を警戒中

|の戦争な以上として開発理略に||後間に連続するほかー、二本の脳。外のスピードアップをし、遮航便。することになる機械である。なほ

は現在の島優丸等をそのまく財前、江口歌長と打合せの結果・新造船

させる理定なので、結局夜航便の

一部下職務等終列車の時利以正をの下職級。3の時間如何によつては

思北忠州本町に住居する朝鮮人

時間のスピードアツブ

対京城最盛東の窓である

忠州に天然痘

の青少年が訪れたあとは意外にも

一及の成ら引動き内食に努めてある

人域する江口廣島総道局連輪部列車を出す範圍中であるが、五

八千五百噸の新連絡船は今年末就航する

即海道協會出居者第二班百五

は後等のために

語 解を賛献して内食に始めてゐたと 賞店に独人用

鐵道協會の

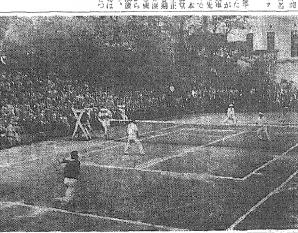
中倒れて死亡 日午後五時半頃京城中林町一

節の外に出し、はんだつけの最中

偽苦學生遂に捕はる

擬を使中にしのばせ、催もやつ一

商展で身を組した京志像中の俳



女グロ犯人捕る

国吉田国主人石田高瀬のごを削

犯人阿部さだは 元石田方。女

農學校や名士の庭園を荒し

各所を行路して哲師き更に聞々し |校の極木・戦岩町にある新田義民 圖々しくも夜市開 携下げする事を一般居住民にも関、東拓所有土地を縁故者のみに などの四項を決議し實現に勤める

した、沙様里高地を占頭した鉱部「畠屋によって、昭和八年の正月は一般職一時間青山一脈はやがて後退」範囲宣派長の果政な行動、機関な

風洞襲地に滑走した

訪れ、各關係方面を踏あして底合

城新常町文化村の

發展策に 大童

ラデオ體操は

今夏全鮮一齊に

よこと、なつたが、これが期間は 調整支那機能が登集して協議を行

競馬塲移轉など陳情

町にある競馬場は東部建成上支配。行は本断農林局を訪問、目下新設





















アナウンサー原本
対対の事
対対の事

た でのおこをの出来事 た でのおこをの出来事 た でのおこをの出来事

て只。壹圓卅錢、投賣

あ、たいり、ま、

「解つてるじゃないか」

一贯方に聞くことは、 でどうつて、何?」

日活

1.海林

機を祈って岩口の暗土起しにを中 へんだが?

なあんだー。始めっから、ちゃん

『丁度明日の晩は、此の先の常盤

いっよっぱの方も

習慣に顕出ししなきやならないの

二局

ある連中がやる・脚本期

わよかつたら貴方も聞いてつても だから九畦原常盤で落合へばいく

窓口を離れた。間もなく出て来た

『脚本朗讃劇なんて、下らないん

かも知れないげど、父どん

步步步步 玉 全銀桂香

4444

の輸卵から云へば、雌に美人の部 慮い。形のい」景と関みのある顔

「じや、頭面目よっなあに?」

廿一日番組

五人組制度の話

の祖元以來訓除されてきた美俗で 徹底は地線を基礎とした日本民族 一分やかしちやいいけないよう

明治町へ入る角で、樅に折れて、 姓の洋館の中に吸び込まれるやう

三丁眞直に行くと、右側の三階

佐田は巫山戦で云つた。 ときに 田の顔めがけて、 は笑ひ作らいつて、紫の煙を、 『先づ、一本』

の産業強化の道 栗本勇之助

同八時(東) 遍唱

同八時三〇分 雅泰—李王敬ో第二位 宿 邁 崔 宿 邁

同八時三〇分(大)

一、歌劇

「風を切つて歩いてゐた佐田は、

ツツの中折といふ、 け分陰のな

千夜子の夫 ここ

細結を取り出して気を貼けると、

四国の勘定器に、五国社を渡して

同六時二〇分(東)コドモの新聞 一夫

方に選存する・五人組制度の活向六時二五分(山)講演・東北地・開産五千二

放

二高教授 海田 引 二高教授 海田 引

帝國を

午後零時五分(六)モダン小唱

質況(九日目)=瀬暦々技能と同四時二〇分(東)夏場所大角カ

義太夫際舞

「後は茶代――」と佐田住見榮を

本紙一嵐號記念懸賞小說二等當選 幕無斷上演映圖

こそうれえ……」と前子は一寸方

一近い内に、一晩銭り建ひたいん 同六時三〇分(東)北湖師掛 同七時一分(単)綱の修沓備公の 今日の天気見込 木曜日 放 送

のを必要とするであらう

し時代に順燃して組織化を計る

立の九時(五分)(氣象通報・料理献)の九時(五分)(氣象通報(卷山)向九時(東)、衛生メモ 陸軍中將 松 鄉 即 建理し地方行政機構の最小低位と

講

談

政時代の追制である全事落民が年 約組として態及されぞの多くが配 整體以来この制度が磁量し特に由 形翳下の間腸付出地方にあつては

心として服かな年中党制を語ふ有 方冠に配張の協力や助善意思の道 士となった、當時の東關脇室の戸

こう こうか それは飛いたくなりち

マア



こんなに美くしう

黒々と染り

ましたわ

八贵金易一郎

Y:八玉 (13分) 元金石(2分)

龍子 5

なってゐる關係上、程い攻めない。の小果君も特別から地になられているのを向とにない。の小果君も特別から地になられている。

B 块汉 京、

> 生れて力士となり大平艦場に祈認川五郎天野州栃木の出身、隣家に をかけ神力を授かり日本一の大力 旭堂 南陸

名力士であったが、階級好きの場

微選擧施止、再生計選の實行等の | 井川は霊の岸の代りに武士上り

柔道の當身で倒す、笠の巨吐配 日離見由は葉の月の强いと

逆手相撲

迎手を知つてゐるので相類中情取

とでも、どれとでも、どう違ふの顕微鏡でくらべて下さい。 外国品とでも、どれとでも、バビリオはどう趣えか。つまり、ロンはどう趣えか。つまり、ロッカ国はどうない。 があるかの

探點の標準とい 文章のうまい拙いなやなしに『ほんとこの二つの答を書いて送つて下さい。 ご自分で御覧になつた、 |等(三十圓)一人。二等(五圓)二十人。||新の標準といたします。||山の標準といたします。 ににんとうに

十日強表六月十二日(新聞にて)

體服用

錢十五圓四 靴型 短

大景品付 大爆發的

(増生村の段) この義太夫は安永八年櫻田 豐澤新左衙門

衛門はこれを見て洟を呑んでお主 紫は容親の題さも知らず身 避を織で設す、與右鉄站の島浦川北に追

是れは空の戸の停重式で病母見舞一まはれ、その妹の果に見染められ へ土蓋を投げつけた少年があつた一量三端といふ高尾の兄の家にかく ◆一一増二 日息上畿川・瀧見山 | 尾の答色に活れ、妍臣の歌ずると| 隠遠太夫に畿川難固を命ぜられる| の物語りで内容は頻繁公は駆壊高 の取組となる、 共に土壌を取器く・綾川横

或は周囲の刺卵

| 電野(二)|| 歴史中將、林・瀬三郎|| 同七時一分(東)朝の修奏稿公の|| 佐田・米雲

図者の来る

三〇時三〇分(六)家庭議選

同六時三〇分(東)國語游巫(大)

州二日き~物

頼兼公の御臺歌周姫をかどはかり 而を強したが狂臣の手先となって 夫婦になる、盗尾の亡魂が現れて 割する、谷蔵は不思議な終で「豆腐 の絹川谷蔵は、お主の高高層を殺 領銀に懇願をうけた角力取

鬼三枚底—總華學生靴 歌ニケ年以上

大産ー大販ー ħ

絕對全責任付、不向返金品替自由

價の半値

10 SEN

頭痛が痛い

10 るすく强く自を齒に的底徹

足三十歲高

か正式、但し不祝儀のはしは、左になる 磨齒の此の許特賣專

所 彙 營 博 下 森 舖本丹仁

足一人大

純バームオイル製高級の化粧石強原料